

## 7 新たな提案

平成 30 年度のシンポジウム「獣医師の働き方改革について考える－女性獣医師活躍推進のために－」（神奈川）において、基調講演「女性活躍促進と働き方改革の現状と課題」として、前内閣府男女共同参画局長武川恵子氏から、女性の活躍を進めるために重要なポジティブアクションや働き方改革等について詳しいお話を聞いたのち、会場にて、新たな目標の設定等についてご意見を聞いたところ好感触であった。このことを受け、今後さらに取組みを進めるために、新たな対策を提案する。

### （1）2030 年目標の設定

**「2030 年までに、獣医師会の女性役員を 30%以上に、女性の獣医師会加入率を男性と同じにすることをめざす」**

これまでの目標（2020 年目標）「現在女性役員がいない地方獣医師会は 1 名は女性とすることを、また、既に女性役員がいる地方獣医師会は複数名にすることを、2020 年頃を目途にめざす」が達成されると、女性獣医師がいない地方獣医師会はなくなり、女性役員は約 100 名、割合は 10%を超えることとなる。しかし、政府が掲げる目標「2020 年までに社会のあらゆる分野における指導的地位に占める女性の割合を 30%程度とする」には届かない。政府の目標に 10 年遅れるが、2030 年までに地方獣医師会の女性役員を 30%以上とすることを目標とする。シンポジウム（神奈川）の会場において、20%以上とすること、30%以上にすることの 2 つについて挙手を求めたが、どちらも多くの賛同が得られたため、より高い数値を採用することとした。

また、獣医師会への加入率（平成 28 年）は、男性 76%に対し女性は 47%と著しく低い。女性の加入率を男性と同じにすることも 2030 年までの目標とすることとした。この目標を達成するためには、女性獣医師自身が「獣医師の妻」ではなく、「獣医師」としての自覚を持つ意識改革が必要である。

理事会において 2030 年目標を紹介したところ、慎重意見等はなかった。達成に向けご協力、ご尽力いただくことを期待している。

### （2）日獣ロゴ等の活用

日獣ロゴの名刺への印刷、日獣バッジの着用は獣医師会の役員、職員を

中心に既に行われているが、多くの会員に広がってはいない。女性獣医師の獣医師会への加入促進を目標に掲げたが、そのための具体策はあまりない。獣医師会に加入することによるメリット、しないことによるデメリットを整理して伝えること等も重要であるが、あわせて、日獣ロゴを印刷した名刺の使用、日獣バッジの着用により、獣医師としての社会的な使命の自覚、誇りを共有し、加入促進につなげることができないか、試みることにした。

特に、費用のかからない名刺へのロゴの印刷を推進することとし、ロゴデザイン転用連絡票を、「使用先の具体的内容：日本獣医師会の構成員である女性獣医師が名刺にマークを印刷します。色を変更して使用することを予定しています。」として日本獣医師会に提出し、ロゴデザインの意匠の使用を認める通知を受理（平成31年4月4日）。ロゴの色は一つの色に決めるのではなく、赤系2色と青系2色の4色から好きな色を使用できるようにし（別添 3）、委員やその友人等の賛同者から取組みを開始する。さらに、地方獣医師会にご理解、ご協力をいただき、順次取組みを広げていただくことを期待している。

日本獣医師会のバッジについては、紺、緑等6色のうち、女性獣医師は「エンジ」を着用することとしたが、購入費用（1個2,500円）がかかること、仕事着への着用が難しい場合もあること等から、まずは、委員から着用を始めてみることにした。

### **（3） 地方獣医師会の定期アンケート**

地方獣医師会における取組みを推進するため、平成28年度から実施してきたアンケートについて、調査票を全面的に見直し（別添 4）、令和元年度からは日本獣医師会が毎年実施している地方獣医師会への定期調査の一つとして継続的に依頼し、優良事例、成功事例等を含む結果を公表していくことにした。